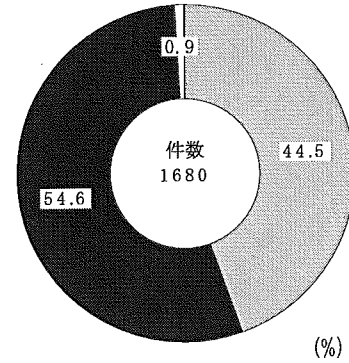


Ⅲ 調査回答者の属性

調査回答者の属性

1-1 性別

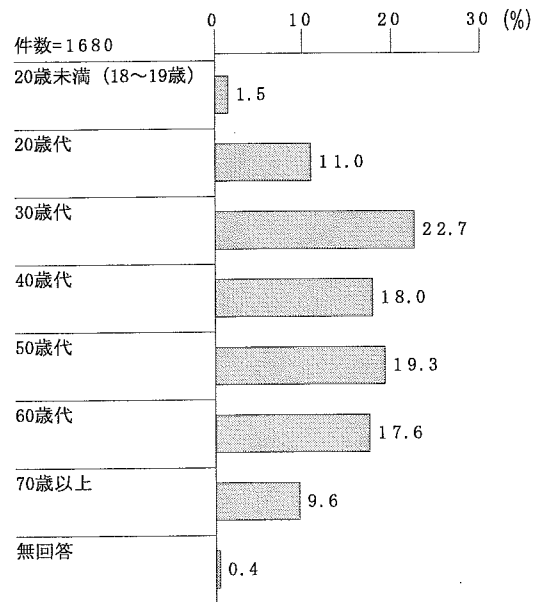
- 性別は、男性が44.5%、女性が54.6%と女性の比率が約10%高くなっている。



凡例
■ 男性
■ 女性
□ 無回答

1-2 年齢

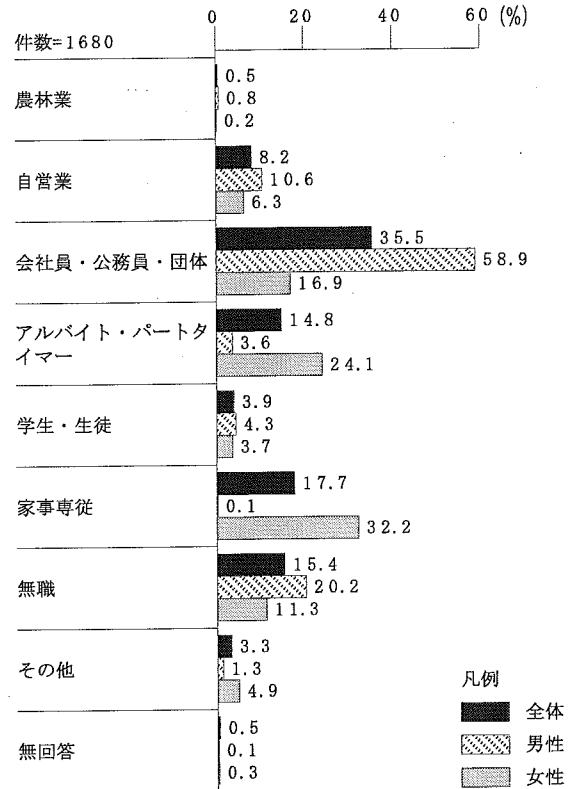
- 年齢構成は、全体で見ると、20歳未満（18～19歳）の若年層の比率が低い状況にあるが、30歳代が22.7%で最も高く、40歳代は18.0%、50歳代は19.3%、60歳代は17.6%で、ほぼ同じ比率となっている。



1-3 職業

- 職業は、「会社員・公務員・団体職員」が35.5%と最も多く、「家事専従」が17.7%、「無職」が15.4%、「アルバイト・パートタイマー」が14.8%と続いている。

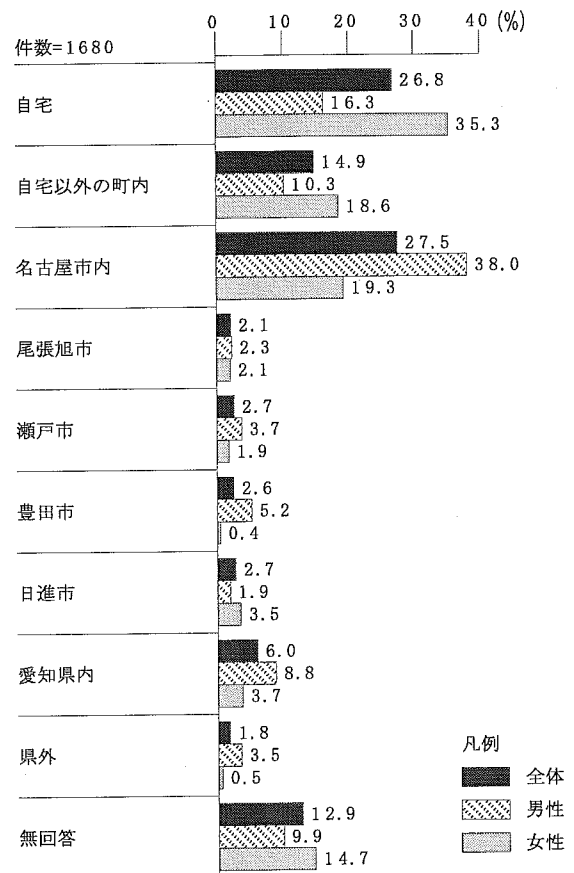
性別で見ると、男性は「会社員・公務員・団体職員」が58.9%と最も多く、「無職」が20.2%と続いている。女性は「家事専従」が32.2%と最も多く、「アルバイト・パートタイマー」が24.1%、「会社員・公務員・団体職員」が16.9%と続いている。



1-4 通勤先・通学先

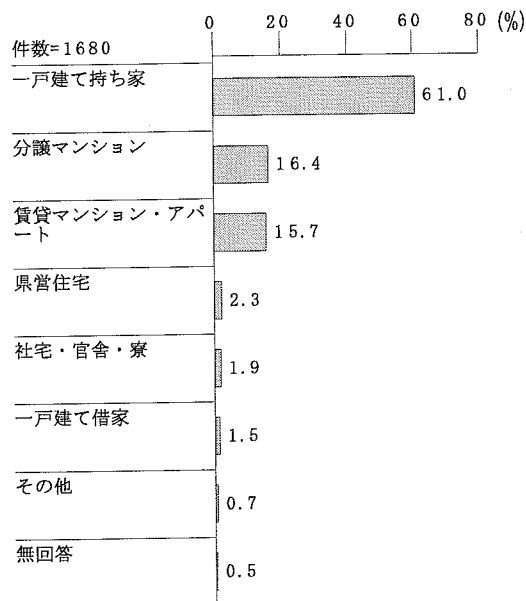
- 通勤先・通学先は、「名古屋市内」が27.5%、「自宅」が26.8%、「自宅以外の町内」が14.9%と続いております。町内（「自宅」+「自宅以外の町内」）が41.7%となっている。

性別で見ると、男性は「名古屋市内」が38.0%と最も多く、「自宅」が16.3%、「自宅以外の町内」が10.3%と続いている。女性は「自宅」が35.3%と最も多く、「名古屋市内」が19.3%、「自宅以外の町内」が18.6%と続いている。



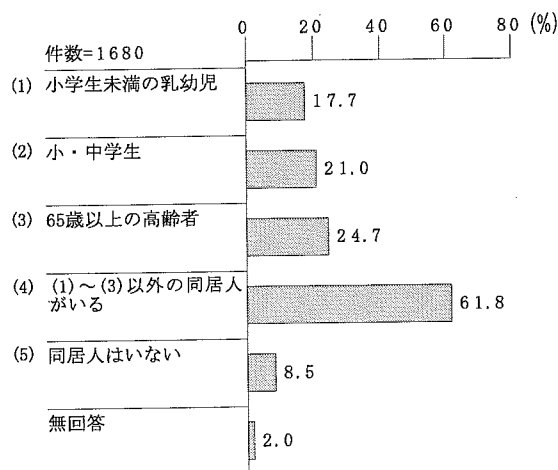
1-5 住居形態

- 住居形態は、「一戸建て持ち家」が61.0%と最も多くなっている。次いで「分譲マンション」が16.4%、「賃貸マンション・アパート」が15.7%となっている。



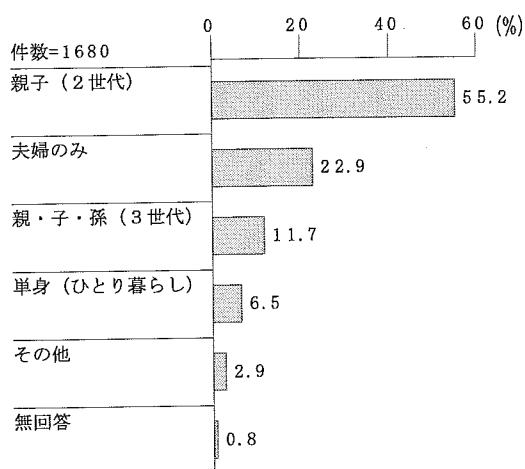
1-6 同居している人

- 同居している人は、「(1)~(3)以外の同居人がいる」が61.8%と最も多くなっている。次いで「65歳以上の高齢者」が24.7%、「小・中学生」が21.0%、「小学生未満の乳幼児」が17.7%となっている。



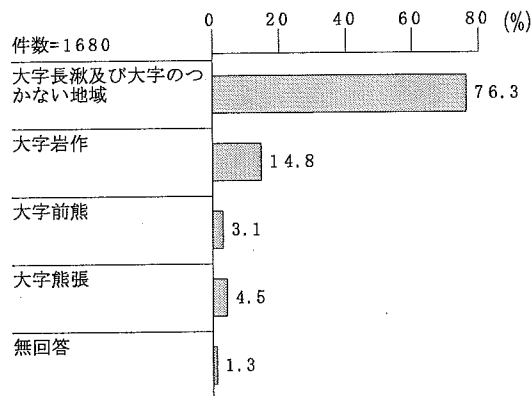
1-7 家族形態

- 家族形態は、「親子(2世代)」が55.2%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が22.9%、「親・子・孫(3世代)」が11.7%と続いている。



1-8 居住地域

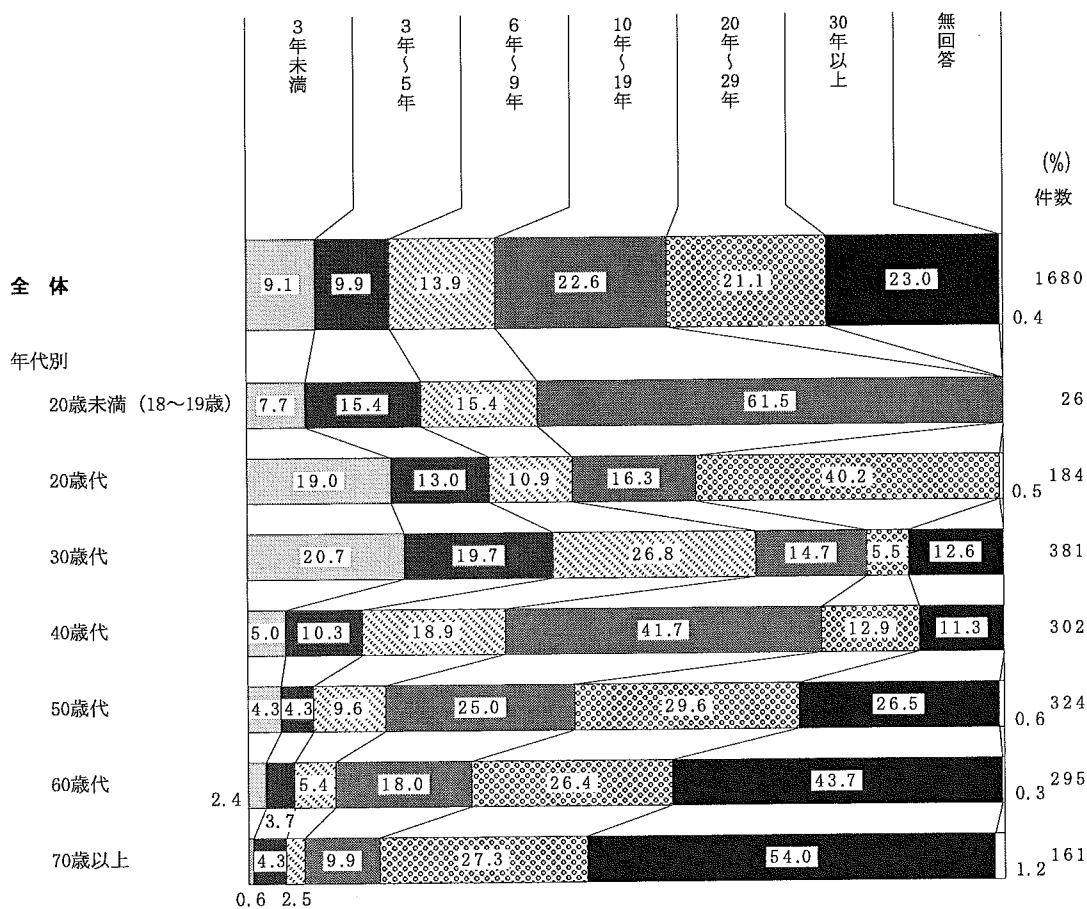
- 居住地域は、「大字長湫及び大字のつかない地域」が76.3%と最も多く、「大字岩作」が14.8%、「大字熊張」が4.5%、「大字前熊」が3.1%と続いており、ほぼ地域別の人口比率に比例している。



1-9 居住年数

- 長久手町に住んでからの年数は、「10年～19年」が22.6%、「20年～29年」が21.1%、「30年以上」が23.0%で、「10年以上」が7割を超えている。

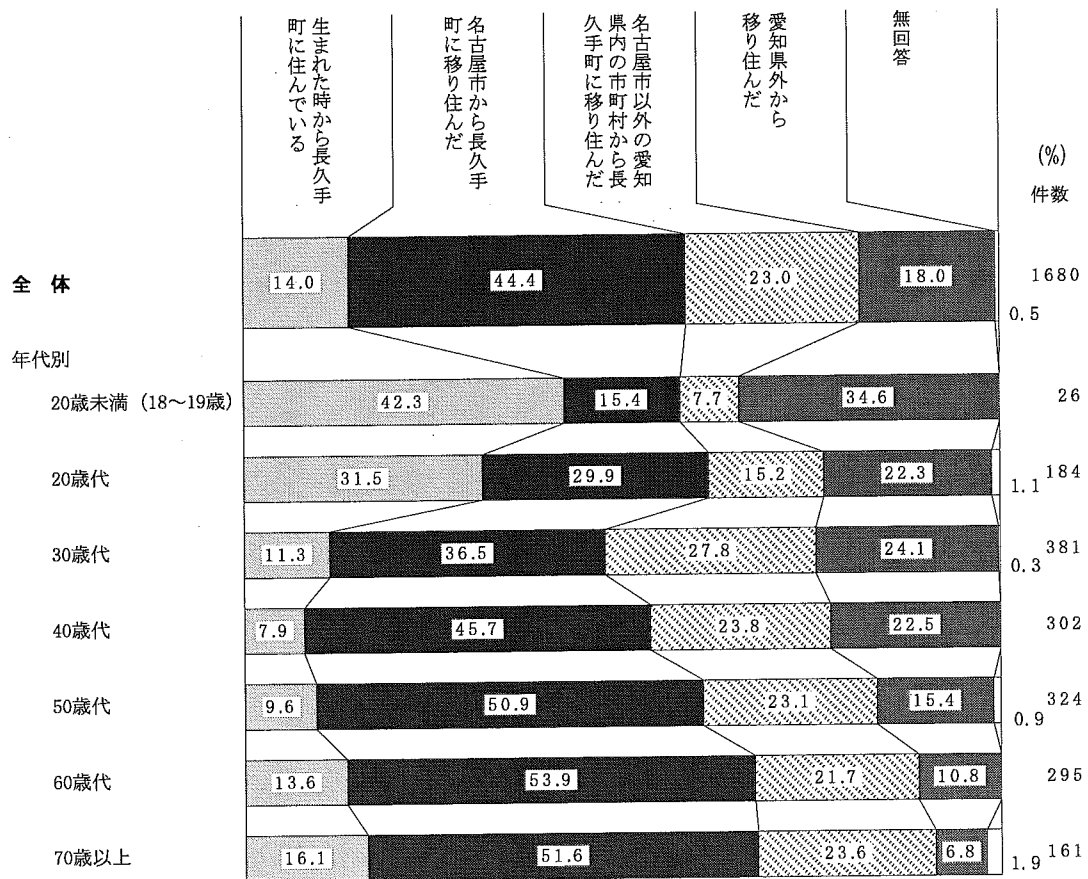
年代別で見ると、「3年未満」は20歳代が19.0%、30歳代が20.7%とそれぞれ2割前後となっている。特に30歳代では「10年未満」が約7割を占めている。40歳代以上は年代が上がるにしたがって居住年数の長い人の比率が高くなっている。



1-10 長久手町に住む以前の場所

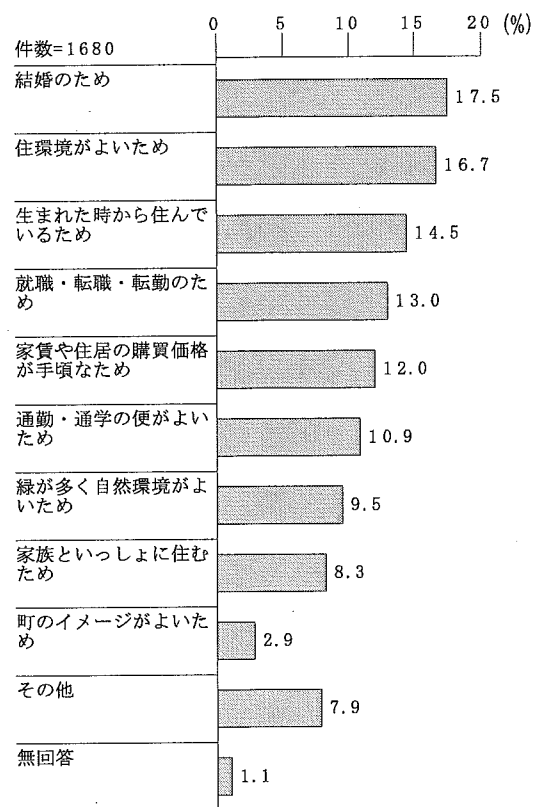
- 長久手町に住む以前の住んでいた場所は、「名古屋市」が44.4%と最も多く、「名古屋市以外の愛知県内」が23.0%、「愛知県外」が18.0%と続いている。

年代別で見ると、20歳代以下では「生まれた時から長久手町に住んでいる」が最も多いが、30歳代以上では「名古屋市」が最も多く、50歳代以上では5割以上を占めている。



1-11 長久手に住んでいる理由

- 長久手に住んでいる理由は、「結婚のため」が17.5%、「住環境がよいため」が16.7%、「生まれた時から住んでいるため」が14.5%、「就職、転職、転勤のため」が13.0%、「家賃や住居の購入価格が手頃なため」が12.0%、「通勤・通学の便がよいため」が10.9%の順で、それぞれ1割を超えている。



1-12 生活活動の場所

- 生活活動の場所としては、7項目のうち6項目については、『長久手町内』が最も高くなっているが、活動内容によってその比率にばらつきが見られる。

活動別で見ると、「食料品の買い物」「通院」といった日常的な活動は『長久手町内』が約8割を占めている。「下着やセーターなどの実用衣料品の買い物」「金融機関の利用」「スポーツ施設の利用」でも『長久手町内』が最も高く、次いで『名古屋市』の比率も高くなっている。「電化製品や家具などの大型商品の買い物」は『長久手町内』と『名古屋市』がほぼ同じ比率を占めており、『尾張旭市』も他に比べ高くなっている。「映画、コンサート、演劇などの文化活動」は『名古屋市』が63.1%と最も高く、次いで『1～6以外の県内』が14.3%、『長久手町内』が9.9%と続いている。

